

丸岡城お天守物語

（天守を守った人々）



はじめに

丸岡城は、1576年(天正4)柴田勝豊によって築城され、今ある天守は、最近の調査で丸岡藩が1624年(寛永元)に成立してから、本多家によって築かれたことがわかりました。

現在まで残る天守(現存天守)は、全国にわずか12しかなく、丸岡城天守は北陸唯一のもので、地元の人々は親しみを込めて「丸岡城天守を「お天守」と呼んでいきます。

本多家4代、有馬家8代にわたって守られたこの天守は、明治時代以後、多くの苦難に見舞われましたが、その度に、「お天守を守る」という信念を持った人々の手によって、天守は危機から救われました。

本書は、明治から昭和30年にかけて丸岡城天守を守るために尽力した荒田太吉、竹原吉助、友影賢世、井伊長善らの活躍をわかりやすく漫画で描いたものです。

この物語をご覧いただき、後世に丸岡城天守を引き継いでいくことの大切さを感じていただけたら幸いです。

丸岡城お天守物語

～ 天守を守った人々 ～

はじめに

目次

丸岡城お天守物語

第1章 みんなのお天守になる

第2章 お天守 国宝となる

第3章 お天守の解体、そして修理へ

第4章 お天守がとんだ

第5章 地震からの復興

第6章 よみがえったお天守

エピソード

1 みんなのお天守に

2 お天守、国宝となる ～荒田太吉の功績～

3 お天守の修理 ～竹原吉助の功績～

4 地震からの復興 ～友影町長の奮闘～

5 よみがえったお天守 ～井伊長善の苦勞～

丸岡城年表

参考資料

丸岡城お天守物語

く天守を守った人々く

